

オランダ ワーゲニンゲン大学と研究交流

2019年1月26～2月18日の間、拠点形成事業のサポートを受けてオランダのワーゲニンゲン大学（WUR: Wageningen University and Research）を訪問しました。大学では教授や学生によるレクチャーの聴講や、Michiel Kleerebezem 教授、Sylvia Brugman 助教授と共に研究に関するミーティングを行う場を設けていただきました。教授とのミーティングでは、日本で既に得られているデータを参考にしながら、より専門的な助言を頂くことで今後の研究方針を固めることができました。

また、私はモズクに含まれる多糖類のフコイダンとそれを利用する腸内細菌について研究しており、多糖類を利用できる数少ない菌株を明らかにする（スクリーニング）方法を模索していたのですが、訪問先に別の多糖類をターゲットにして同様の実験を行なっている方がいらっしゃり、実験方法から解析方法まで詳細なアドバイスを頂くことができました。

今回の訪問では、海外の大学における研究の在り方から、自身の研究に関わる事まで、今後の研究生活に繋がる多くの学びを得ることができました。このような貴重な機会を頂けたこと、厚く感謝申し上げます。

